

◎THEグローバル社、都内でマンション
― 郊外では戸建て、共同事業で開発推進

THEグローバル社(旧・グローバル住販)は、都区内部でマンション、郊外では戸建てを中心に分譲住宅開発事業を展開する。マンションプロジェクト用地は約900戸分を取得済み。共同事業方式による少資金型不動産開発を推進する。

同社は、7月から持株会社制に移行、マンション開発会社や戸建て開発会社、不動産販売会社などを傘下に置く純粋持株会社「THEグローバル社」を設立した。主力のマンション開発事業は、東京都区部における供給が中心となり、今期(11年6月期)は既に「グラウス日本橋浜町」(東京・中央区、総戸数36戸)、「ウイロローズ茅場町」(同、63戸)、「ウイロローズ瑞江ブライズ」(東京・江戸川区、31戸)を完売。このほど、「ウイロローズ月島テラス」(東京・中央区、22戸)の販売を開始したほか、台東区入谷エリア、北区西ヶ原エリア、足立区梅島エリアなどでいずれも中小規模マンションを販売する。

少資金型の不動産開発による事業拡大を進めており、メーカー系やゼネコン系の企業などと共同事業方式で、中央区築地エリアや江東区北砂エリア、北区東十条エリアなど、計約450戸分のプロジェクトを進行中。

一方、昨年から本格スタートした戸建て開発事業は、埼玉県西部など東京郊外部で、1プロジェクト当たり1〜5戸規模のミニ開発に取り組む。現在、埼玉県のふじみ野エリア、新座エリアで販売中。東京・府中エリアでも販売する。今後の展開について、永嶋秀和社長は、「リフォーム事業を強化する。中期的には、海外事業やM&Aも視野に入れている」と話す。